

事業報告附属明細書

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）会費の振り分けに関して

本年度も昨年度に引続きコロナ禍での運営となりました。

本年度も、公益目的事業での実質費用は昨年度とほぼ同等となり、会費の振り分けは昨年同様の以下の通りとした。

公益目的事業 70%（前年度:70%）

共益目的事業 5%（前年度:5%）

法人会計 25%（前年度:25%）

➤ 正味財産増減計算書（内訳表）費用配布割合に関して

公益法人では費用項目を公益目的事業・収益等事業・法人会計に按分して記載（人件費等はその事業への従事した割合・家賃等はその事業に使用している割合・そしてある事業に直接関連するものは直接費用）としています。本年度も配布割合は昨年同様とし、以下のように按分いたしました。

| | | 公益目的事業 | 収益等事業 | 共益事業 | 法人会計 | |
|-------------|----------|--------|-------|------|------|------|
| 人 件 費 | 専務理事 | 95% | 0% | 0% | 5% | 従事割合 |
| | 事務局長 | 90% | 2% | 2% | 6% | 従事割合 |
| | 派遣:経理・総務 | 85% | 2% | 2% | 11% | 従事割合 |
| 家賃 | 家賃・光熱費 | 85% | 2% | 2% | 11% | 使用割合 |
| | 通勤交通費 | 90% | 2% | 2% | 6% | 従事割合 |

※リース料は従来の割合を踏襲し、その他の費用は、ある事業に関連した直接対応費用となっています。

➤ 会費収入の大幅な減少により赤字決算へ

2023年度会費収入は、21,150,000円（対予算比:91% △2,080,000円）・（対前年度比:92% △1,740,000円）。経営難等により経費削減などが相次いだ年となりました。この現実を受け止め、2024年度は更に魅力ある組織へと変革し会員増強に向かいます。

➤ 予算より増加した費用に関して

会議費:経営委員会セミナー等で会場参加者と講師の方の交流を図りたく、ケータリングを用意(7回)。

その他、他団体との交流会参加費。リアルに切り替えた結果ですが、コロナの影響がどこまでか読み切れない部分もありました。

人材派遣費:週3日を基本としているものの、事務局事情により出社日を増やし対応に当たっていました。

事務消耗品(管理費):オンライン環境の整備で、カメラ・マイクなどの購入。

通勤交通費:理事長は無報酬ですが、理事会・委員会・セミナー等行事での交通費のみ実費精算。